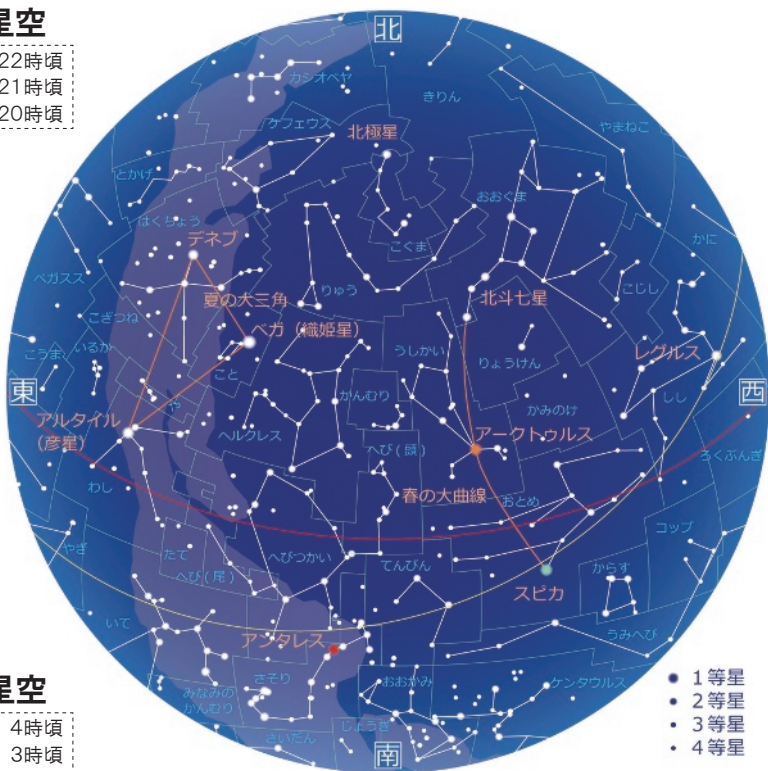


星空ガイド 6月16日～7月15日

よいの星空

6月16日22時頃
7月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

6月16日 4時頃
7月1日 3時頃
15日 2時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	日	4:44	19:13	13:41	0:47	9.6
	21	金	4:45	19:14	18:52	3:24	14.6
	26	水	4:46	19:15	22:45	8:50	19.6
7	1	月	4:48	19:15	0:41	14:34	24.6
	6	土	4:50	19:14	4:33	19:51	0.2
	11	木	4:53	19:13	9:40	22:26	5.2
	15	月	4:56	19:11	13:26	--:--	9.2

※惑星は2024年7月1日の位置です。

七夕の日は雨ばかり!?

七夕の日は、天の川の両側に引き離された織姫と彦星が、天の川を渡って会うことができる年に一度の特別な日。ただし、雨が降ると天の川が氾濫してしまい、2人は会えなくなってしまう…。このような七夕物語は日本では広く知られています。

ですが、そんな大切な七夕の日に、空がすっきりと晴れていて星がよく見えた経験が数えるほどしかないような気がしていました。なので1991年から2020年までの30年間で、七夕の日に大阪で晴れの天気が観察された割合(天気出現率)を調べてみました。

すると7月7日の晴れの天気出現率は26.7%、一年の中でワースト11位ということがわかりました。感覚ではなく、本当に晴れの日が少なかったのです!(大阪は梅雨の時期なので、当たり前といえば当たり前なのですが。)

「それじゃあ、なかなか織姫と彦星は会えないじゃないか!」と悲しい気持ちになった方、ご安心ください。本来七夕行事は、私たちが現在使っている太陽の動きを基準にした新暦(太陽暦)ではなく、月の満ち欠けを基準とした旧暦(太陰暦)の7月7日に行われていました。このような旧暦に基づく七夕を「旧七夕」と呼んでいます。

今年は8月10日が旧七夕の日となります。過去30年間で8月10日の晴れの天気出現率は73.3%、旧七夕であれば天の川が荒れる心配はあまりなくて済みそうです。

(出典:大阪管区気象台 大阪の天気出現率

<https://www.jma-net.go.jp/osaka/kikou/tenki2/graph/osaka.html>)



野村 美月(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
6	16	日	月とスピカがならぶ
	17	月	日没直後に水星と金星が接近
	20	木	夕方にアンタレス食 (18時29分潜入~19時10分出現)
	21	金	夏至(太陽黄経90°) 海王星で西矩
	22	土	○満月(10時)
	27	木	月が最近(21時・369,408km) 月と土星が接近
	29	土	●下弦(7時)

月	日	曜	主な天文現象など
7	3	水	月と木星がならぶ
	5	金	太陽が最遠 (遠日点通過14時06分・1.521億km)
	6	土	●新月(8時)
	7	日	七夕
	8	月	夕方に月と水星がならぶ
	10	水	金星が近日点通過
	12	金	月が最遠(17時・404,389km)
	14	日	●上弦(8時)
	15	月	火星と天王星が接近